

# 目 次

令和3年12月定例会

NO	議案番号	件 名
1	議案第85号	箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
2	議案第86号	神奈川県議会議員定数等検討委員会への足柄下選挙区に関する要望書の提出について

議案第 85 号

箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を  
改正する条例の制定について

箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条  
例を別紙のように定める。

令和 3 年 11 月 30 日提出

箱根町議会議員	稲	葉	親太郎
〃	勝	俣	剛 一
〃	遠	藤	秀 則

(提案理由)

新型コロナウイルス感染症による社会情勢を鑑み、議員自らが率先して身を削り、少しでも財源を確保する必要があるとの判断により、令和 3 年 12 月の期末手当の削減措置を講ずることとしたため、現行条例の一部を改正する必要があるため、本条例案を提出するものである。

箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を  
改正する条例

箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例(昭和 32 年箱根町条例第 17 号)の一部を次のように改正する。

附則に次の 1 項を加える。

(期末手当に関する特例措置)

14. 令和 3 年 12 月の期末手当の額は、第 5 条第 2 項の規定にかかわらず、同項の規定による額からその 100 分の 10 に相当する額を減じた額とする。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

議案第 86 号

神奈川県議会議員定数等検討委員会への足柄下選挙区に関する要望書の提出について

神奈川県議会議長及び神奈川県議会議員定数等検討委員会委員長に対し、足柄下選挙区に関する要望書を別紙のとおり提出するものである。

令和 3 年 11 月 30 日提出

箱根町議会議員 稲 葉 親太郎  
〃 勝 俣 剛 一  
〃 遠 藤 秀 則

(提案理由)

現在、神奈川県議会では議員定数等検討委員会を設置し、次期神奈川県議会議員選挙の際の議員定数や選挙区の見直しの検討を行っている。

一部報道によると、見直しの対象として小田原市選挙区と足柄下選挙区の強制合区の懸念もあり、地元議会としては地域住民の声を直接県に伝えるため安易に強制合区を行わず、人口割にとらわれない柔軟な議論を展開されることを求めるため要望書を提出しようとするものである。

## 神奈川県議会議員定数等検討委員会への足柄下選挙区に関する要望書

昨今の人口減少社会は、豊かな日本の根幹を揺るがす問題です。地方創生を合言葉に様々な地域や地方の在り方を見つめなおし、行政サービスの最適化、広域化を図るとともに地域の魅力を掘り起こすことが必要とされています。神奈川県は、大都市東京都と隣接しているため、人口を東京にひっぱられる傾向があります。そして巨大な政令市が3つあり、県内人口の65%を占め、全国の中でも人口格差が著しく進んでいます。必然的に、県議会の議員定数も政令3市に偏る傾向となり、従来の人口割だけの議員定数配分では神奈川県は、直面する課題「地方創生」、「人口減少」には立ち向かえないと考えます。

元総務大臣の増田寛也著「地方消滅」によれば、人口減少問題で一番大事な「出生率」は都心に近いほど低い傾向にあり、「豊かな地方」ほど高いとされています。東京都の1.15に対し、神奈川県では開成町が1.54と一番高いですが、当町は出生率が「1.00」を下回っております。県議会が、地域住民から声を吸い上げるため、県議会議員を配置し続け、より一層「声を大」にしていかなければ手遅れとなり消滅都市になりかねないと危惧しております。

特に足柄下郡エリアは、年間2,500万人もの観光客を迎え入れる国際的観光地であり、交流人口も念頭に入れるべきと考えます。また、平成28年から真鶴町は、過疎地域指定を受けており、今後の課題は山積であります。今回の検討委員会ではこれらのことを踏まえ、「ただ人口で当てつける区割り、強制合区」ではなく「未来の神奈川県の展望や施策」、「中長期的な視点」を念頭に抜本的な議論が必要と考えます。

さらに、公職選挙法第271条の特例選挙区の制度も勘案すべきであります。これは同法第15条第2項前段の強制合区の規定にかかわらず、当該地域をもって1選挙区を設ける制度であります。平成30年、兵庫県相生市は県議配置基数が0.474で0.5を僅かに下回る程度とみなし地方創生の観点から強制合区対象を外した経緯があります。足柄下郡は0.4711ということであり、前例を鑑みると強制合区と判断するには時期尚早であると考えます。

以上のことから神奈川県議会議員定数等検討委員会の方々へ意見を申し上げさせていただきます。

- 1 神奈川県の事情を鑑み、地方創生の観点から「足柄下郡」の強制合区は時期尚早であります。
- 2 豊かな神奈川県を育むためにも、県議会、県議会議員の「県民の声を吸い上げる」重要性を意識し、人口割にとらわれない柔軟な議論を展開することを要望します。

令和3年 月 日

神奈川県足柄下郡箱根町議会議員 山田 成宣

(提出先)

神奈川県議会議員 小島 健一

神奈川県議会議員定数等検討委員会委員長 桐生秀昭